

## 昨年度評価(R5年度)

## 【主たる中施策事業】評価と現状認識

※	1 事業名	2 関連する重点事業名	3 総合評価	4 R5年度決算①	5 R6年度予算②	6 差(②-①)	7 評価と現状認識	8 所属
2	社会福祉推進事業		B	78	4,452	4,374	あいさつ運動を継続実施したことで、あいさつ推進員も増加し、また、地域においてもハローワークを実施するなど理解が深まってきたと感じている。今後も毎月8日を「おはよう08(オハ)の日」とする等積極的なあいさつを推進し、更に地域に広めていくことが必要である。	地域福祉課
16	重層的支援体制整備事業	・重層的支援体制整備(多機関協働)事業	B	33,007	34,951	1,944	共生社会課において地域づくり事業を実施したことで、福祉の枠組みが色濃くでやすい相談支援事業と両輪となり、支援に広がりが出たと捉えている。また、関係機関だけでなく、地域での参加の場づくりや生活支援等の社会支援づくりを進めたことで、複雑かつ複合化した福祉課題を抱えた方を包括的に受け止め適切な支援につなげていくための「重層支援センター」設置に向けて体制を強化した。	地域福祉課
15	障がい福祉サービス事業		B	1,489,237	1,563,916	74,679	障がい福祉サービスの利用者数や一人当たり利用実績も増加傾向にあるが、障がい者の自立や社会参加につなげていくことが重要である。障がい福祉サービスのニーズを把握し、必要な障がいサービスを提供する必要がある。	地域福祉課
15	障がい者相談支援事業		A	22,200	31,909	9,709	相談件数が増加傾向にあり、相談の内容も多岐に渡り、相談支援の質が問われる中、相談支援事業所連絡会でケースについて話し合う等相談支援体制の強化と関係機関との連携を図ることができた。	地域福祉課
2	障がい福祉推進事業	・第4次豊明市障害者福祉計画等策定事業 ・障がい福祉システム更新事業	A	3,071	440	-2,631	障がい者ニーズの把握を行いながら、第4次豊明市障害者福祉計画等を策定した。障害者やそのご家族の意見や状況を把握し、障害者施策に取り組んでいくことと併せて、引き続きレクボッチャ大会を開催する等障害者に対する理解促進を図る。	地域福祉課
16	生活困窮者等扶助事業	・危機管理監視員配置事業 ・包括的就労推進事業	B	712,218	39,454	-672,764	物価高騰などの影響を踏まえ、低所得者世帯に対する給付金の支給事業について、迅速かつ適正な対応ができた。困窮者の状況が多様化する中、引き続き寄り添った対応と必要な支援策を講じることが重要であると認識している。また、関係機関と連携し、支援をしていく必要があると認識している。	地域福祉課
12	一般介護予防事業		B	43,577	49,734	6,157	「まちかど運動教室」など介護予防に資する様々な事業を実施した。課題である男性の参加率増加に向けて男性参加の地域サロン立ち上げ及び運営支援等取り組むことができたため、今後の動向に注視する。	長寿課
12	認知症総合推進事業		A	19,862	21,755	1,893	認知症高齢者の増加も見込まれるなか、認知症に対する理解促進は今後一層重要となるため、引き続き普及啓発活動を積極的に行うことが重要である。	長寿課
16	生活支援体制整備事業		A	16,330	18,419	2,089	支援を必要としている人が増加傾向にあり、「ちゃっと」サポーターによる支援も増加しているためおたがいさまセンター「ちゃっと」の活動成果は十分なものと認識している。今後も増加が見込まれるので、「ちゃっと」サポーターやサロンの支え手の増員と育成が必要と考える。	長寿課
2	成人検(健)診事業		B	139,012	156,193	17,181	検診受診率向上に向け受診勧奨や周知の工夫も大切であるが、健康意識を高めていくことも重要である。低下した検診受診者数の回復に向けた取り組みが必要であると認識している。	健康推進課
11	健康づくり事業		B	293	296	3	健康でありたいと思う市民が多いことは、健康ウォーキングの参加者数の増加にも現れているので、糖尿病性腎症などの予防教室の充実や健康づくりの普及啓発に努めていくことが大切である。	健康推進課
90	新型コロナワクチン接種事業		-	56,975		-56,975	新型コロナワクチン接種に関しては、5類移行後も関係機関と連携し、しっかり対応できた。今後は定期接種化の方向が示されているので、その動向を踏まえ取り組むこと。	健康推進課
28	保育所等整備事業	・保育環境改善事業 ・特定教育・保育施設等整備補助事業 ・公立保育所整備事業 ・(旧)沓掛保育園園舎解体事業	B	159,044	295,642	136,598	内山保育園の民営化に向けて、保護者、地域住民への説明を行い、円滑に移行できるよう引継ぎ保育も実施できた。また、保育園の大規模改修を行ったが、老朽化が目立つことから、今後も計画的に実施していく。未満児の受け入れ拡大、医療的ケア児の受け入れ、保育士の確保など課題もあることから、その状況を踏まえ、子育てしやすい環境や質の高い保育に向けた様々な取り組みが必要である。	こども保育課
	保育所等運営事業	・私立保育所等運営補助事業 ・地域型保育事業運営補助事業 ・医療的ケア児保育支援事業	B	1,926,561	2,165,380	238,819		
90	国民健康保険事業	・データヘルス計画策定事業 ・特定保健指導(遠隔面接等)事業 ・未受診者対策事業	-	6,340,232	5,981,640	-358,592	健康・医療情報を活用して効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るためのデータヘルス計画を策定した。将来的には、医療費・介護給付費が高額となるメタボ、慢性腎疾患、糖尿病性腎症の発生予防と重症化予防に努めることが必要であると認識している。	保険医療課
	後期高齢者医療事業		-	1,230,498	1,379,200	148,702		
30	児童発達支援センター事業	・児童発達支援センター事業 ・どんぐり学園解体事業	A	144,733	95,120	-49,613	利用者からの事業評価も目標を達成でき、適切な運営ができています。令和5年10月より入園までの間利用できる事業としておひさまを実施しており、今後も利用者の意見を参考に新たな取り組みを行い、支援ニーズに応えていくことが重要である。	子育て支援課
17	児童館管理運営事業	・南部児童館トイレ整備事業 ・児童館屋上防水改修事業	A	121,570	225,703	104,133	コロナ禍で減少した利用者数も徐々にではあるが戻りつつあり、利用者アンケートの満足度も高止まりしていることから、児童館が身近な居場所や地域との交流の場となっているものと認識している。	子育て支援課

昨年度評価(R5年度)								
【主たる中施策事業】評価と現状認識								
※	1 事業名	2 関連する重点事業名	3 総合評価	4 R5年度決算①	5 R6年度予算②	6 差(②-①)	7 評価と現状認識	8 所属
28	妊娠出産子育てワンストップ事業	・多胎妊婦健康診査事業	A	171,011	183,567	12,556	全ての妊婦に保健師等の専門職が面接し、伴走型支援と一体的に経済的支援も行うこととなり、支援の充実に繋がっている。支援プラン作成件数も増加しており、対象者の状況に合わせた支援が行えていると認識している。	子育て支援課
28	子育て支援センター事業		A	15,658	16,510	852	子育て支援センターだけのこはカラット内に開所して2年目となり、様々な子育て支援事業や相談事業を行い、利用者数も多い状況である。今後も、利用者のニーズを把握し、子育て世帯に寄り添い、安心して楽しく過ごせる場としていきたい。	子育て支援課
1	児童虐待・DV対策事業		A	7,143	11,605	4,462	児童虐待やDVは、早期に関係機関と情報共有し、深刻化する前に対応していることが管理家庭数の減少に繋がっている。相談件数の増加も見込まれるため、相談体制の充実と併せ、相談場所の周知や発見した際の早い段階での通告など早期解決につながる取組みが重要である。	子育て支援課
12	老人福祉センター運営事業		B	10,710	8,635	-2,075	老人福祉センターの管理運営方法について検討を行い、福祉体育館に併設していることを踏まえ、一体で事業者選定した。高齢者の健康づくりの場だけでなく、多世代交流など新たな取組みが必要である。また、風呂の廃止に向けた説明会を実施したように、今後も利用者のご理解を得ながら効率的な運営に努めていきたい。	長寿課
17	児童館管理運営事業	・南部児童館トイレ整備事業 ・児童館屋上防水改修事業	A	121,570	225,703	104,133	児童館に関しては、利用者、事業者などの意見を参考にしながら、次期プロポーザルに向けた準備やひまわり児童館の整備に向けた準備ができたと考えている。	子育て支援課

※事業が関連するめざまの姿の番号です。No.90はめざまの姿関連外事業です。

「3\_総合評価」から「6\_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。